

地理的事象を分析する力を高める高等学校地理指導の工夫

—必要な情報を抽出した地図の作成とそれらを活用する言語活動を通して—

地歴・公民班 七原 直子（高等学校教諭）

主題設定理由

これらの力が不十分なので身に付けさせたい

分布の特色を読み取る力

分布の要因を他の事象と関連付けて考察する力

読み取ったことや考察したことを記述する力

地理的事象を分析する力とは

地理的事象の分布の特色を分布図などから把握し、なぜそのような分布の特色が見られるのかを、他の事象の分布図と比較したり、他の事象と関連付けたりして考察する力

実践概要

<見通し1>

分布の特色の把握（地図作成）
読み取りに必要な情報を抽出した地図を作成する

<見通し2>

分布の特色の把握（地図の読解）
作成した地図から分布の特色を読み取り記述する

<見通し3>

分布の要因の考察
分布の要因を他の事象と関連付けて考察し記述する

ヨーロッパの鉄工業の情報

<資源分布>

鉄鉱石・ボーキサイト・ウラン・石油・天然ガス・石炭

<工業都市>

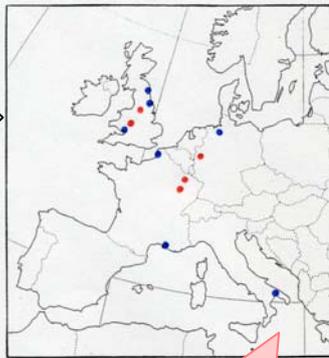
鉄鋼業・金属工業・造船業・自動車工業・化学工業・繊維工業・エレクトロニクス工業・航空機工業

<その他>

工業地域・運河・石油パイプライン

資料集に掲載されている地図

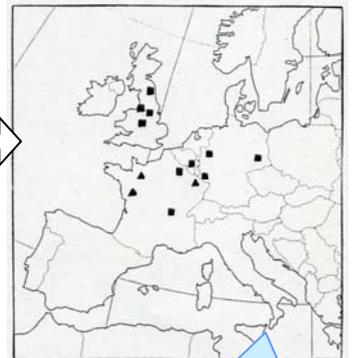
新旧の鉄鋼業都市の代表例を抜き出す
(新は青、旧は赤で示す)



新旧の鉄鋼業都市の分布図

(予想される生徒の記述)
古くからの鉄鋼業都市は内陸部にある。

2枚の分布図を関連付けて工業都市の分布の要因を考察する



鉄山・炭田の分布図

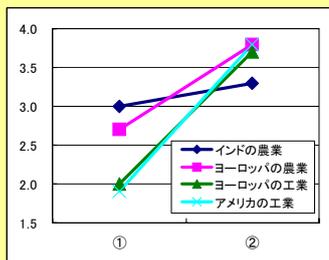
(予想される生徒の記述)
古くからの鉄鋼業都市は、資源の産地に立地しているため、内陸部に分布している。

(生徒の思い)
ごちゃごちゃしていて分布の特色が読み取れないなあ。



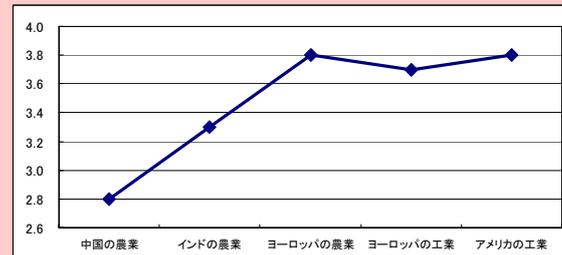
成果

すべての単元で評価点が上昇



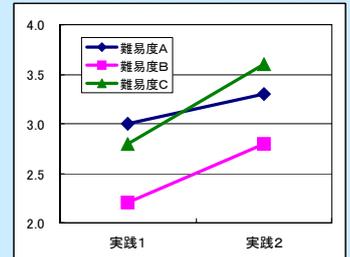
<見通し1> 記述内容の評価の変化
注①は資料集に掲載された地図からの読み取り
②は必要な情報を抽出した地図からの読み取り

ヨーロッパの農業以降の単元で、評価点の平均が3.7以上に上昇



<見通し2> 記述内容の評価の変化

作業内容の難易度別分類において、すべての実践で評価点が上昇



<見通し3> 記述内容の評価の変化

注)難易度A: 中国の農業・インドの農業
難易度B: ヨーロッパの工業・アメリカの工業1
難易度C: アメリカの農業・アメリカの工業2

生徒の記述に対する評価基準(見通し1・2)

評価	基準			
	中国の農業	インドの農業	ヨーロッパの農業	ヨーロッパの工業
4	特色を2つ以上適切に読み取り記述している		特色を2つ適切に読み取り記述している	
3	特色を1つ適切に読み取り記述している			
2	記述内容が適切な読み取りではない			
1	記述なし			

生徒の記述に対する評価基準(見通し3)

評価	基準				
	中国の農業	インドの農業	アメリカの農業	ヨーロッパの工業	アメリカの工業1
4	3つ以上適切に関連付け記述している		2つ以上(以下同じ)	2つ(以下同じ)	3つ以上(以下同じ)
3	1~2つ適切に関連付け記述している		1つ適切に関連付け記述している		1~2つ(以下同じ)
2	記述内容が適切な関連付けでない				
1	記述なし				

課題

○分布の特色の読み取り方の指導の工夫

分布を読み取る活動の最初に読み取りに必要な知識を教える必要がある

○関連を適切に考察させる指導の工夫

複数の分布図を関連付ける際、1枚1枚の特色を最初に読み取らせてから、関連を考察させる必要がある

